



Rotary International District 2800 山形西ロータリークラブ会報

会長：佐藤 章夫 幹事：遠藤 正明

地区目標 「4つのテスト」を実践し ロータリーの価値をたかめよう。

クラブテーマ Let's Make The Best Better 前へ!

- ◆点鐘：佐藤 章夫 会長
- ◆ロータリーソング：それこそロータリー
- ◆司会：長岡 壽一 副 S.A.A.
- ◆会場：山形グランドホテル

Yamagata West Rotary

第2891回例会 令和2年10月26日(月)

会長あいさつ

佐藤 章夫 会長



アメリカの大統領選挙が目前に迫ってまいりました。来年は衆議院議員総選挙があります。山形県知事選挙もあり、2021年は選挙ラッシュの年になります。選挙はデモクラシーの基礎であり基本であります。論語に曰く「子曰く民は之に由ら使む可し 之を知ら使む可からず」とあります。私はこれを反民主主義の象徴的言質として受け止めてまいりました。民衆には何も教えるな、為政者の言うことを黙って従わせればいいと、封建制下の身分制の下で支配階級が民衆を支配する原理だと思ってきたからです。

ですが今はこの解釈に私は非常な疑念を抱いております。国政選挙では、憲法、原発、コロナ禍、消費税、社会保障、福祉等々、日本の針路を決する重要な論点がいくつもあります。こうした中で、投票先を自分で判断する選挙民は極めて少ないのではないのでしょうか。多くの選挙民は候補者の訴える個々の政策に賛同するというよりも、候補者を包括的に信頼するか、または候補者を支援する選挙運動をする人々の薦めによって投票します。賛成するところもあるし反対の案件もあるのが普通であります。それら全てを包み込んで選挙民は、「民由ら使むに足る人物」を選ぶこととなります。

かくして一般大衆が投じる一片の投票用紙の集積によって、国家の針路、運命が決まるのです。論語には「民信無くんば立たず」とも書かれています。投票する一般大衆に候補者が掲げる政策を細部にわたって知ろうとする努力を強要することは無理だろうと思います。候補者に求められるのは、大衆から代議を一任される自覚と国を背負う覚悟、そして人格的信頼を失わないようにすることではないのでしょうか。「由ら使む可し」「知ら使む可からず」は、民主主義政治の実態を鋭く見通した言葉として現代にも通じる、と私は思うようになりました。

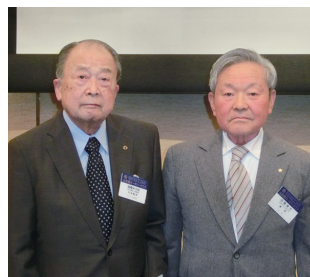
テレビが白黒だった時代に、アメリカの連続ドラマが放映されました。それはアメリカのある州の地方議会で少数勢力の党首が主人公、という一風変わった設定でした。この番組の冒頭に「デモクラシーは良くない、けどほかはもっと悪い」という文言が流れていました。健全な民主主義は私たちが選挙民としてポピュリズムに流されることなく、優れた人材を見極めて投票することでしか成り立たないのであります。

これで挨拶といたします。

幹事報告

遠藤 正明 幹事

- 米山功労者の第27回メジャードナーを遠藤栄次郎さんにいただいております。
- 米山功労者第1回の感謝状が遠藤靖彦さんに届いております。
- 山形市内7ロータリークラブ親善ゴルフコンペのご報告をさせていただきます。個人の部優勝、遠藤靖彦さん。第3位、佐藤充昭さん。第5位、伊庭公也さん。団体としては個人が1、3、5と獲ったので、優勝だろうと私はお聞きしました。結果、第2位でございました。来年度もまた頑張っていたきたいなと思います。



第27回メジャードナー 遠藤栄次郎さん



米山功労者 遠藤靖彦さん

委員会報告

出席委員会

本日の資料の中に「ガバナーズ マンスリー レター」というのが皆さまのお手元に配られております。その中に、去る8月31日にガバナー公式訪問例会が開催されまして、2800地区のすべての出席率の一覧が掲載されております。当地区の49クラブのうち、100%を達成できたのは、7ロータリークラブでございまして、おかげさまで山形西ロータリークラブも100%ということでご紹介をされております。皆さま方のご協力に感謝申し上げます。また、来週の例会もよろしくお願い申し上げます。

その他ご報告

先日指名委員会が開催されまして、副会長に長澤裕二さんになっていただくことに決まりました。次年度のガバナー補佐は、結城和生さんになっていただくことにご承諾いただきましたので、これもご報告させていただきます。

ご挨拶



サインバヤル・
ハンガイバヤル 氏

山形ローターアクトクラブ会長

皆さんこんにちは。山形ローターアクトクラブの会長を務めさせていただいております、サインバヤル・ハンガイバヤルと申します。

まず初めに、素晴らしい伝達式典のご機会をいただきまして、誠にありがとうございます。私だけではなくクラブの会員全員が打ち解け合うことができ、クラブの始まりとして非常に良いスタートを切れたかと思えます。本日はこのように皆さんの前で挨拶をさせていただく機会をくださった佐藤会長および遠藤幹事に深く感謝を申し上げます。

自分の紹介をさせていただきたいと思えます。私はモンゴル人です。モンゴルで日本式高校を卒業いたしました。私と山形西ロータリークラブで大変お世話になっていましたドルさんの出身高校は山形のロータリアンの皆さまのお力で立ち上げられて、今年10月5日に20周年を迎えました。卒業してすぐ、京都の立命館大学に英語のプログラムで入学し、すべての授業を英語で受けてきました。正直、日本語にはあまり自信がありません。しかし、ローターアクトのメンバーと皆さんを繋ぐ重要な責務を受け持つことになったので、役割を果たしてまいりたいと思えます。

大学を卒業したあとに大阪のモンゴル領事館、台湾の大使館などで経験を積んで、一旦モンゴルに戻りました。その後、トヨタ自動車に入社いたしまして、そこを辞め、今は山形のIT企業、エム・エス・アイに勤めながら経営について勉強しております。

私が山形ローターアクトクラブの会長の役割を引き受けた理由は、自分の夢に1歩近づくためでもありました。その夢というのは、将来母国に戻り、経営者になることです。そのために責任を果たせる人間になる目標があります。山形ローターアクトクラブの会長として責務を全うすることで成長し、目標とする人物に近づけたらと思えます。

山形ローターアクトクラブは新しいことにチャレンジするには恵まれた環境だと思います。この機会、このチャンスを生かして革新的なことに挑戦していきたいです。私は会長として次3つのことを実践したいです。

1つ目、ロータリークラブの目が行き届かないところでの活動を広げ、力になることです。

2つ目、賑やかなクラブにすることです。メンバーの1人1人が活動への参加を義務とは思わないように、義務だと思わないような、お互いにいい影響を与え合い、楽しく参加できるクラブにしたいです。

3つ目、国際貢献をしたいです。私は6歳から英語の勉強に励み、大学でも国際関係を学びました。なので、会長として在職中に必ず国際交流を含めた貢献をしたいです。

国際交流はもちろん、国内での地区の間の交流も大事にしていきたいです。できれば現地に行ってたくさん勉強させていただきながら山形ローターアクトクラブの魅力を存分に伝え、なんとかの形で架け橋になれたらと思えます。

新しくできたクラブの代表ということもあり、今後の活動を何より楽しくやらせていただきますので、期待してください。ご清聴ありがとうございます。

ご挨拶



大久保 彰宏 氏

パストガバナー

皆さん、こんにちは。昨年度は大変お世話になりました。コロナという未曾有の危機、これに直面をしまして、こちらのクラブも6月ぐらまでは休会をされたのではないのかなと思えます。そんな中、鈴木直前会長には大変ご尽力をいただき、クラブをまとめていただいたことに心より感謝を申し上げる次第でございます。

昨年、私がガバナーの時に、山形にローターアクトクラブを作るということを申し上げました。と言いますのは、国際協議会に行って、昨年度のRI理事会で「国際ロータリーの会員は、ロータリークラブとローターアクトクラブになる」ということが決議をされております。ですので、今まではロータリーだけでしたけれども、今後はローターアクトクラブも1会員として、ロータリーと同等の立場になるということで、RIは非常にローターアクトクラブに対する期待が大きなものになってきております。

そんなわけで、なんととも県都山形にローターアクトクラブを作りたいということで、昨年、山形市内の7ロータリークラブの会長・幹事の皆さま方に協力いただきたいということで、山形ロータリークラブと北ロータリークラブは文教大を持っておりますので、学校型ではなく一般型のローターアクトクラブをとということで、西クラブさんをはじめ、残りの5クラブで共同提唱という形で作らせていただきました。

昨年の地区大会で認定状伝達式を行ったんですけども、お披露目ができておりませんので、今年の8月に山形市長を交えて、認定状伝達式を行い、祝賀会を開催をさせていただきました。

私としましては、なんとかこの山形ローターアクトクラブを発展させたいという努力をしまいたいと思っております。前回、山形西ロータリークラブ様がローターアクトクラブを作っていたことは十分にわかっておりまして、その辺も鈴木会長に確認を取りながらですね、今現在のローターアクトクラブを作っているということでございます。

山形県として恥ずかしくないローターアクトクラブを作りたいので、皆さま方、どうかご自分の企業、友人、そういった方々の、入会をよろしくお願いを申し上げたいと思っております。私の会社からも従業員3人、入会させていることには私にとってはいいことかなと思っておりますので、ぜひこの輪を広げていただきたいと思います。今日、ご挨拶にまいった次第でございます。

ハンガイ会長をよろしくお願い申し上げますとともに、今日、地区の代表として板垣沙織さんが来ておりますので、今後ともローターアクトご支援をよろしくお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。



「ローターアクトとは」

板垣 沙織 氏

国際ロータリー第2800地区
地区ローターアクト代表

本日は「ローターアクトとは」と題しましてお話させていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

まず、本日も初めてお会いする方も大勢いらっしゃるかと思いますので、簡単に、1991年生まれの29歳でございます。地元、鶴岡市の高校を卒業し県外の大学に進学、その後就職して入社2年目の2015年の7月に、企業派遣という形で鶴岡ローターアクトクラブに入会いたしました。ローターアクト歴は6年目でございます。昨年度、鶴岡ローターアクトクラブの会長を務めまして、今年度は国際ロータリー第2800地区の地区ローターアクト代表。そしてロータリーの地区委員でもある青少年奉仕委員会の委員も務めさせていただいております。ローターアクトの会員がロータリーの地区委員になるのは、2800地区としては初めての試みでございます。

ローターアクトクラブとは、「ロータリー」と「アクション」が掛け合わさったものとなっております。18歳以上の若者がリーダーシップと専門スキルを育み、地域社会のリーダーと意見交換をしながら楽しく奉仕活動を行う団体でございます。

2800地区には今現在、社会人基盤の山形ローターアクトクラブ、酒田ローターアクトクラブ、鶴岡ローターアクトクラブ、米沢ローターアクトクラブ、南陽東ローターアクトクラブと大学基盤の東北文教大学ローターアクトクラブ、合計6クラブがありまして、約40名で活動しております。さまざまな奉仕活動や交流を通してリーダーシップであったり、個々の力を高められる場だと感じております。

ローターアクトクラブの活動といたしましては、月に2回の例会がございます。例会では会員がスピーチをしたり、また、ロータリアンの方をお招きしてお話いただいたり、時には移動例会、自分たちで例会を企画し、運営いたします。

また、新型コロナウイルスの影響で、4月から6月に關しましては、オンライン例会を行ってまいりました。オンライン例会ではインドのローターアクト、ペルーのローターアクトから声が掛かり、一緒に合同例会も開催し、国際理解と交流を深めました。提唱クラブの鶴岡ロータリークラブとは、一緒に清掃活動なども行っております。

そして近年、ローターアクトクラブが注目され、2019年の1月に開催されました国際協議会にて、ロータリー史上初めてローターアクトが参加しました。世界から

60名、日本からは3名のローターアクトが、ガバナーエレクトや海外のローターアクトとともにアイデアや戦略を交換し合い、それがクラブや地区の目標の一部になっただけではなく、ロータリーの未来における重要性についても意見を交わし、お互いにとってとても実り多い経験となったと伺っております。

その時私は申請しておらず、昨年2月に開催のPETS（会長エレクト研修セミナー：補足）にて15分間SNSを使ったロータリーのPR活動についての卓話をするように言われまして、250人を超えるロータリアンの皆さまの前でお話する機会をいただきました。

ただ、今回は条件がありまして、地区ローターアクト代表か、地区ローターアクト代表エレクトが申請できるという内容でした。その時ただの会員であった私は、申請するには地区ローターアクト代表エレクトになる必要がありました。8月15日の締め切りに対し、8月4日に開催の会長・幹事会にて承認を得まして、ローターアクト代表エレクトになり、その後、RIへの登録の完了が2日前の8月13日。申請では在籍年数だとか、あとはローターアクトで経験した役職、RYLA（少年指導者養成プログラム：補足）や青少年交換などのロータリーのプログラムに参加したことがあるか、あとは英語だとか、各言語はどの程度話せるかといった内容がありまして、その他にもどういことを勉強したいか、世界のガバナーエレクトとどんな話をしたいか、それぞれ500字以下で入力し、申請完了です。

2019年9月15日までに結果が届くとのことでしたが、翌々日の9月17日に国際協議会に出席が決まった旨のメールが届きました。慌てて職場に休暇の申請を出しました。世界からは60名、日本からは私を含め4名のローターアクトが参加してまいりました。

夕方までに登録を行いまして、1人ひとりにメールと翻訳機、スケジュール等が渡されました。早速、ローターアクトのオリエンテーション、歓迎レセプションがありまして、マーク・ダニエル・マローニーRI直前会長やホルガー・クナークRI会長によるご挨拶がございました。その日の夜は、ホストナイトディナーということで、アメリカのローターアクトの皆さまが会場を用意し、おもてなしして下さいました。総勢90名のローターアクトと楽しく有意義な時間を過ごすことができました。

そして、国際協議会2日目では、ローターアクトもガバナーの皆さまと本会議に参加いたしました。分科会では日本のガバナー17名の中に、ローターアクトが2名入った分科会がございました。ガバナーの皆さまとの分科会は合計3回あり、それぞれテーマに沿って、研修リーダーのスムーズな進行によって行われました。

そして、国際協議会3日目最終日では、本会議の後に日本の皆さまとの分科会があり、午後からはローターアクトのみのセッションがございました。ローターアクトのみの分科会の中で、ホルガー・クナークRI会長への質問の時間がございました。事前に質問を提出し、いくつか選ばれて答えていただけるような形です。その中で私の質問が選ばれました。「ホルガー・クナークRI会長にとって、ロータリーを一言で表すと？」と質問いたし

ました。人によっては、サービス・奉仕であったり、フェローシップ・親睦であったり、さまざまな捉え方があるかと思えます。地区のローターアクト代表を務めるにあたり、ホルガー・クナーCRI会長にとってのロータリーへの思いを知りたく、このような質問をいたしました。ホルガー・クナーCRI会長は、「Fan (楽しみ)」と答えました。

今、ロータリーが恐れていることは、年齢層がどんどん上がっていくことがあるそうです。イングランドのロータリーは、平均年齢が74歳、若い人たちにとって魅力を感じないと停滞していく。若い人たちにとって魅力的であることが大切だとおっしゃっていました。

少し話が変わりますが、2019年10月の理事会会合にて、ローターアクトについての重要な決定事項がありました。内容は、以前までは18歳から30歳までという年齢制限が、7月から18歳以上ということで、すべての若い成人が入会できるような形に変更になりました。2020年の7月よりローターアクトはこのように変わりました。また、2020年の7月より人頭分担金も発生いたします。山形西クラブの8月31日のガバナー公式訪問の際にも少しお話があったかとは思いますが、これらの大きな変更は、将来的にローターアクトクラブを独立したクラブにしたいとか、将来的にローターアクトを卒業して、ロータリークラブに入るような流れを作りたい、そういう方針が表れているものだと思います。

そして、最終日の夜は閉会晩餐会、テーブルの中で日本人は私1人だったのですが、無事に終えることができました。

さて、今年度のテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」。ロータリーとローターアクト、手に手を取り合って、機会の扉を開いていく。そんな思いが込められています。



板垣沙織さんと佐藤会長

私から山形西ロータリークラブの皆さまにお願いがございます。まず、1つ目、会社の従業員で18歳以上の方がいれば、是非、ご紹介くださいませ。山形市に山形ローターアクトクラブが誕生いたしました。そして2800地区のローターアクトクラブは全体

で約40名と、全国的にも少ない数なんです。会員同士でさまざまな意見を交換し合ったり、活動の幅が広がるためにはやはり人数も必要になってくるかと思っております。

そして2つ目。ローターアクトクラブと一緒にできる活動がありましたら、お声掛けくださいませ。山形ローターアクトクラブをはじめとする県外のローターアクト、清掃活動でも、力仕事でも何でも喜んで参加させていただきます。もし、入会いただける会員様がいる場合、ローターアクトの入会申込書を遠藤幹事が持っておられるということで、皆さま、是非、よろしくお願ひいたします。

佐藤会長、遠藤幹事をはじめとする山形西ロータリークラブの皆さまに感謝申し上げます、私からのご挨拶とさせていただきます。本日は貴重な機会、誠にありがとうございました。

ニコニコBOX

〈10月26日〉

佐藤章夫会長／1. 大久保パストガバナー、サインバイラル・ハンガイバイラル山形ローターアクトクラブ会長、板垣ローターアクト2800地区代表、お出でいただき御礼申し上げます、心から歓迎いたします。

2. 昨日、写楽クラブ慈恩寺ツアーに参加しました。大変楽しい一日でした。

鈴木浩司さん／大久保パストガバナーようこそ。

武田元裕さん／板垣沙織さんようこそ！
一層のご活躍をお祈りしています。

鈴木隆一さん／三浦記念財団三浦記念賞受賞決定
受賞が決まったのでニコニコいたします。今後も精進いたしますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

遠藤靖彦さん／西ロータリーのゴルフコンペに引き続き、10月11日の7ロータリーゴルフコンペでも多大なハンディキャップに恵まれ、優勝してしまいました。10位以内に西ロータリーから3名入りましたが、ロータリー対抗戦で優勝できなかったことが残念です。

職業交流委員会一同／10月11日に行われました、市内7ロータリークラブ親善ゴルフコンペにおいて、我が西クラブ、団体の部で準優勝、個人の部で遠藤靖彦会員が優勝いたしました。応援ありがとうございました。

親睦・家族委員会一同／先日の芋煮例会では81名もの皆さんにご参加いただきありがとうございました。皆さんのご協力のもと、大変素晴らしい例会が開催できたことに感謝してニコニコいたします。

本日出席 (10 / 26)	会員総数	出席会員数
	98名	63名